

みんなでがんばろう 日本

2014年度 年次報告書 [2014年6月～2015年5月]
GREAT EAST JAPAN EARTHQUAKE RECOVERY INITIATIVES FOUNDATION

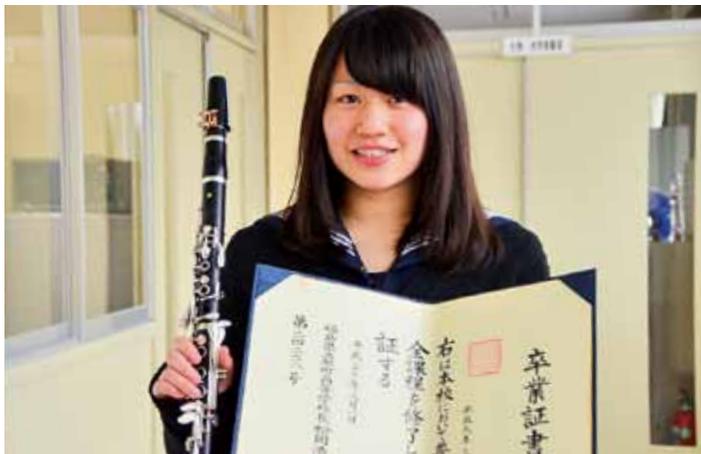


学べるしあわせをみんなに。

高校生対象給付型奨学金
「まなべる基金」

学べるしあわせをみんなに

まなべる基金



東日本大震災の影響による経済的な理由で、就学・進学が困難となった高校生のための、返還不要の給付型奨学金です。高校生たちが安心して高校生活を送れるよう、2011年度から実施しています。2014年募集分以降は、高校生たちが卒業するまでの最長4年間、最大48万円を給付しています。

支援総額 **14.49億円** 支援者数 **2,571人**

※2015年5月末時点

協力団体◎特定非営利活動法人ジービーパートナーズ

2014年募集分 支援総額 0.36億円
支援者数 87人

※支援総額には今後の支給予定分、支援者数には支援終了者も含む。



KIDS DESIGN
AWARD 2015

MITAGI



スポーツを通じて夢を応援

みやぎ「夢・復興」ジュニアスポーツ パワーアップ事業

スポーツを通じて子どもたちの夢を応援するとともに、将来の宮城の復興を支える、心身ともにたくましい人材を育成します。小学4～6年生を対象とする「みやぎジュニアトップアスリートアカデミー」では、さまざまな競技や最先端のトレーニングを体験することで、トップアスリートとして活躍できる可能性を広げます。「未来を担うみやぎっ子 体力向上キャンペーン」では、復興を担っていく子どもたちの元気と活力の促進を目指します。

※2015年7月に第9回キッズデザイン賞を受賞しました。

支援総額 **2.29億円** 支援者数 **284人**

※2016年3月までの支援予定額、支援予定者も含む。

主催

◎みやぎ「夢・復興」ジュニアスポーツパワーアップ事業実行委員会

主な構成団体

◎宮城県教育委員会

◎公益財団法人宮城県体育協会

◎仙台大学

2014年
募集分 支援総額 6,800万円
支援者数 86人
※「みやぎジュニアトップアスリートアカデミー」参加者



GOOD
DESIGN



“こども”の力で未来を支える

福島こどもカプロジェクト

自然体験や、スポーツ、キャリア教育や国際交流などのさまざまな体験活動を提供する団体への支援を通じ、子どもたちが本来持つ力を伸ばすことを目指しています。未来の福島を復興を担う子どもたちの成長を願いながら、地域や福島への強い思いを持った人たちと共に活動しています。



支援総額 **2.96億円** 支援者数 **約58,900人**

※2016年3月までの支援予定額、支援予定者も含む。

後援

◎福島民報社

◎福島民友新聞社

◎福島県教育委員会

◎福島県

2014年
募集分 支援総額 0.66億円
支援団体数 6団体
支援者数 3,900人

支援額合計

31.11億円

支援者数合計

約75,000人と337の団体

支援活動団体向け助成
子どもサポート基金

子どもたちの成長を支える団体の活動をバックアップ 子どもサポート基金

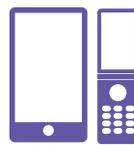
被災地域で子どもたちが健やかに成長できるよう活動するNPOやボランティア団体への助成を行っています。被災した子どもたちが日常生活を取り戻し、心身の健康を回復すること、また主体性と希望を持ってたくましく成長できる環境を作る団体が継続して活動できるよう、サポートしています。

支援総額 5.71億円

支援件数 313団体

※支援額は助成決定時での総額である。

2014年 募集分	支援総額 1億円 助成件数 44件
--------------	----------------------



話す・つながるをサポート

18歳まで携帯料金サポート

震災で保護者を亡くした子どもたちを対象に、身近な人々と話す・つながるためのコミュニケーションツールである、携帯電話の料金をサポートしています。18歳になるまでのあいだ、電話会社に関わらず、携帯電話、スマートフォン、PHSの電話料金を月1万円までをお支払いし、子どもたちを含むご家族の経済的な負担を軽減します。

支援総額 970万円

支援者数 42人

※2015年5月時点

協力団体◎あしなが育英会

NEW



地域と向き合う若者の活動を支援し、
東北に活気と変化を創造する

ユースアクション東北

被災地域の復興や活性化のために活動する若者を資金面と人材面から支援し、「思いを形にできる人間」への成長と活動のさらなる発展を後押しする取り組みです。

活動にかかる費用に対して助成金を提供するとともに、活動の実現と継続のため、アドバイスやサポートをする大人の伴走者と助成団体を繋ぎます。また、伴走者同士が集まり、お互いの経験や知見を共有し合う機会を作ります。

協力団体◎認定NPO法人カタリバ

◎特定非営利活動法人底上げ

◎一般社団法人Bridge for Fukushima

その他の支援活動

将来、東北の復興を担う人材の育成など、他にもさまざまな支援活動を行っています

芦ノ牧ホテル野球を愛する会

福島県会津若松市で、野球を通じた人材育成を目指す少年野球チーム「福島ホープス会津リトルシニア」の立ち上げに必要なユニフォームや備品設置の支援をしました。

S to I

宮城県の高校生たちが防災意識の向上を目指し、ワークショップの実施や語り部による震災体験の共有などを行う活動を支援しました。

しょっかーず観光チーム

宮城県の高校生たちが観光客の増加を目指し、拡張体験を可能とするメガネ型端末、ARグラスを活用した観光プランを企画運営する活動を支援しました。

TOMorrow Project 岩手

岩手県の高校生たちが、内陸部と沿岸部の情報格差を解消するため、情報紙を制作し県内の全高校へ配布する活動を支援しました。

TOMODACHI Raw voice

高校生たちが、ニュースでは報道されない被災地に住む人々の生の声や、これからの街のあり方についての思いを集めて発信する活動を支援しました。

ロールプレイング気仙沼

宮城県気仙沼市出身の大学生たちが、観光客の増加を目指し、ロールプレイング形式の観光ツアーを実施する活動を支援しました。

活動のあゆみ

【設立～2015年5月末まで】

- 2011年 ● 3月 ■ 東日本大震災発生
- 6月 ■ 一般財団法人
東日本大震災復興支援財団 設立
- 7月 ■ 公益財団法人認定
- 8月 ■ 子どもサポート基金公募開始
■ 一時転居支援助成公募開始
■ 18歳まで携帯料金サポート公募開始
- 11月 ■ まなべる基金公募開始
- 12月 ■ ふみだすふくしま開始
- 2012年 ● 3月 ■ 活動報告会開催
- 10月 ■ 福島県伊達市の幼稚園への
砂場や人工芝の支援
■ まなべる基金 緊急支援奨学金公募
- 2013年 ● 4月 ■ みやぎ「夢・復興」ジュニアスポーツ
パワーアップ事業開始
- 6月 ■ 福島子どもカプロジェクト開始
- 2014年 ● 8月 ■ 宮城県知事より感謝状を拝受
- 10月 ■ 福島子どもカプロジェクト
グッドデザイン賞を受賞
- 11月 ■ 活動報告会開催
- 2015年 ● 5月 ■ ユースアクション東北開始



ごあいさつ



代表理事

立石 勝義

東日本大震災の発生から4年が経ちました。

各種調査などによると、1995年の阪神淡路大震災から4年経過後の仮設住宅入居率が10%強であったことに対し、東日本大震災により被災された方の現在の仮設住宅入居率は70%強といわれています。現在、被災沿岸地域では、防潮堤や高台移転のための住宅地造成などの土木工事が、大がかりに進められています。被災者の方が1日も早く、自宅や復興住宅に入居される日が来ることを祈るばかりです。

当財団で、被災した子どもたちやその家族のための支援を続けてくる中で、「地域を元気にしたい」とさまざまな活動を行う高校生や大学生を中心とした若者に出会うようになりました。さらなる復興や地域の活性化には「若い力」の存在がととても大切です。私たちは、若者への支援を通して、人材育成のお力になることができれば、と「ユースアクション東北」という新しい取り組みを開始しました。

今後も、次世代を担う子どもたちのため、活動を続けてまいります。

皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

当財団の理念

復興支援を通じて、
次の世代が幸せに暮らす
社会の創生に貢献する。

ビジョン

子どもたちが夢と
希望を育む
環境を実現する。

団体概要

団体名 公益財団法人東日本大震災復興支援財団
 設立日 2011年6月14日
 人員構成 理事6名、監事2名、評議員6名、職員15名
 会長 孫正義 (ソフトバンクグループ(株)代表取締役)
 代表理事 立石 勝義
 専務理事 荒井 優
 理事 佐藤 大吾 ((一財)ジャパングピンギング 代表理事)
 大橋 智哉
 岡本 正 (岡本正総合法律事務所 弁護士)
 所澤 新一郎
 評議員 寺島 実郎 ((一財)日本総合研究所 理事長)
 小宮山 宏 ((株)三菱総合研究所 理事長)
 村井 純 (慶應義塾大学 環境情報学部長)
 中村 伊知哉 (慶應義塾大学 大学院メディアデザイン研究科教授)
 藤原 和博 (教育改革実践家)
 青野 史寛 (ソフトバンクグループ(株)執行役員 人事部長)
 監事 君和田 和子 (ソフトバンクグループ(株)執行役員 経理部長 兼 内部統制室長)
 加藤 善孝 (優成監査法人 統括代表社員)
 会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

支援を受けた子どもたちからのメッセージ

まなべる基金



私たちの高校生活を支援してくださりありがとうございます。震災が起きてから三年が経ちましたが、私にとってはあっという間に過ぎていった三年間でした。避難先に転居した後は、あの地震のことを忘れられず、毎日福島での生活を振り返るばかりでした。それでも、時は過ぎていき、前に進まなければならないという気持ちをかげで支え、背中を押してくれたのはまなべる基金の寄付者の方々でした。奨学金は国家資格の受験料や参考書の購入費などに使わせていただきました。福島で起きた震災のことを忘れることなく、いつかは地震や津波のおそろしさを少しでも伝えていけたらいいなと思っています。

(福島県/高校3年)

みやぎ「夢・復興」ジュニアスポーツパワーアップ事業



僕は今、地元プロ野球チームのジュニア選手として練習に励んでいます。アカデミーでは、トップアスリートの方から直接教えていただき、スポーツに対する考え方が変わりました。今は自分の目標を持ち、自宅での練習を欠かさずにやっています。また、あいさつ・お礼といったマナーの大切さや、将来の宮城について考えるようになりました。僕は自分のことだけでなく誰かのために尽くせる、そんな大人になりたいです。

(宮城県/中学1年)

当財団に関する情報を発信しています
ぜひご覧ください。

東日本大震災復興支援財団

検索



<http://minnade-ganbaro.jp/>



<https://www.facebook.com/ganbarojp>



<https://www.youtube.com/user/minnadanaganbarojp>

ご寄付のお願い

当財団へは、以下のような方法でご寄付いただけます。いただいた寄付金は被災地の子どもたちの支援のため、大切に活用させていただきます。特定の支援活動に限ったご寄付もできますので、下記または当財団のホームページをご覧ください。

公益財団法人東日本大震災復興支援財団ホームページ

<http://minnade-ganbaro.jp/shien/donation/>

財団の活動全般へのご寄付

銀行振り込み

当財団が行う支援活動全般へのご寄付です。いただいた寄付金は、被災地の子どもたちを支援するための活動に100%役立ててまいります。

みずほ銀行 大手町営業部 (112)
普通預金 3514117

公益財団法人東日本大震災復興支援財団
(コウエキサイダンホウジン ヒガシニホンダイシンサイフコウシエンザイダン)



かざして募金

携帯電話から

SoftBankの
スマートフォンから



その他の
携帯電話から



- ※ SoftBankのスマートフォンをお使いの方は、携帯電話料金と一緒に寄付金をお支払いいただけます。
- ※ SoftBankのスマートフォン以外をお使いの方は、「かざして募金」のページ経由でクレジットカード決済となります。

特定の活動へのご寄付

「まなべる基金」銀行振り込み

本口座への寄付金は、「まなべる基金」の奨学金として、100%役立ててまいります。

みずほ銀行 大手町営業部 (112)
普通預金 3514439

公益財団法人東日本大震災復興支援財団
(コウエキサイダンホウジン ヒガシニホンダイシンサイフコウシエンザイダン)

「みやぎ「夢・復興」ジュニアスポーツパワーアップ事業」 銀行振り込み

本口座への寄付金は、宮城県の小学生を対象に、トップアスリートの育成を通じた人材育成プログラムと、子どもたち全体の体力向上を目指すプログラムを実施するために100%役立ててまいります。

みずほ銀行 大手町営業部 (112)
普通預金 3517405

公益財団法人東日本大震災復興支援財団
(コウエキサイダンホウジン ヒガシニホンダイシンサイフコウシエンザイダン)

その他、クレジットカードや、JapanGiving、Yahoo! ネット募金などでもご寄付いただけます。詳細は、当財団ホームページをご覧ください。

2014年度にご寄付をいただいた方々 (敬称略・50音順)

※ 1回の寄付金額が10万円以上で、ご希望いただいた方のみ掲載させていただいております。

株式会社アクトビューティー	神奈川県立神奈川総合高等学校	千葉商科大学	van tattoo studio
Association Compagnied'Hathor	カリグラフィーズ・ギルド	ディスカバーリー・ジャパン株式会社	BBソフトサービス株式会社
天野真佐志	川口マラソン大会実行委員会	東京トリニティコール	福岡ソフトバンクホークス株式会社
株式会社井グチ	久喜音楽文化振興会	東武動物公園	北海道大学医学部 41 期会
岩本和広	株式会社グリーンアース	戸田マラソン大会実行委員会	美術大学・美術大学短期大学部ボランティアセンター
SB アットワーク株式会社	株式会社 KTS コーポレーション	届けよう笑顔! 実行委員会	Milwaukee Japanese Association
株式会社 SBJ 銀行	ゲイトウェイ・コンピュータ株式会社	株式会社トランスワークインターナショナル	みんとも
SB ヒューマンキャピタル株式会社	佼成学園女子中学高等学校	中条商事株式会社	ユニコム株式会社
MJ イラストレーションズ	三幸製菓株式会社	成田山深川不動堂	麗澤瑞浪中学・高等学校
〇てる会	秀和株式会社	南山大学経営学部石垣ゼミ	特定非営利活動法人ワーカースコープ夢コープ
オッズ・パーク株式会社	常磐興産株式会社 スパリゾートハワイアンズ	日東工器株式会社	
オープンハートプロジェクト	株式会社新生銀行	株式会社日本薬師堂	
香川県よさこいチャリティー BASA Live 実行委員会	セコムチャリティオークション事務局	一般社団法人 PARACUP	

正味財産増減計算書 2014年6月1日から2015年5月31日まで

(単位:円)

科 目	2014年度	2013年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	409,458	520,724	△ 111,266
受取利息	409,458	520,724	△ 111,266
受取寄付金	778,908,564	822,947,901	△ 44,039,337
受取寄付金	778,908,564	822,947,901	△ 44,039,337
雑収益	14,482,060	36,761,257	△ 22,279,197
受取利息	8,193	8,530	△ 337
助成金返金益	3,289,608	7,378,698	△ 4,089,090
寄付金返金益	11,184,259	29,374,029	△ 18,189,770
経常収益計	793,800,082	860,229,882	△ 66,429,800
(2) 経常費用			
事業費	753,791,889	810,221,352	△ 56,429,463
給料手当	14,740,423	12,648,310	2,092,113
旅費交通費	0	10,153,820	△ 10,153,820
業務委託費	0	14,363,810	△ 14,363,810
賃借料	15,897,196	16,438,974	△ 541,778
支払助成金・支払寄付金	687,688,327	732,317,870	△ 44,629,543
まなべる基金	381,136,116	414,522,000	△ 33,385,884
子どもサポート基金	101,350,000	102,890,000	△ 1,540,000
18歳まで携帯料金サポート	2,598,021	2,993,156	△ 395,135
福島子どもカプロジェクト	121,528,586	130,736,714	△ 9,208,128
みやぎ「夢・復興」ジュニアスポーツパワーアップ事業	78,180,000	74,800,000	3,380,000
その他の寄付	2,895,604	6,376,000	△ 3,480,396
その他の事業費	35,465,943	24,298,568	11,167,375
管理費	48,103,102	49,412,329	△ 1,309,227
給料手当	13,715,879	13,121,102	594,777
採用費	2,729,376	0	2,729,376
法定福利費	2,468,335	0	2,468,335
業務委託費	0	4,916,002	△ 4,916,002
通信運搬費	3,775,999	3,858,378	△ 82,379
広告宣伝費	0	3,164,246	△ 3,164,246
減価償却費	3,523,668	2,580,297	943,371
賃借料	3,815,833	3,999,638	△ 183,805
設備管理費	0	3,305,184	△ 3,305,184
支払報酬	5,319,000	4,176,150	1,142,850
その他の管理費	12,755,012	10,291,332	2,463,680
経常費用計	801,894,991	859,633,681	△ 57,738,690
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 8,094,909	596,201	△ 8,691,110
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 8,094,909	596,201	△ 8,691,110
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 8,094,909	596,201	△ 8,691,110
一般正味財産期首残高	43,498,711	42,902,510	596,201
一般正味財産期末残高	35,403,802	43,498,711	△ 8,094,909
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	130,149,787	98,199,160	31,950,627
受取寄付金	130,149,787	98,199,160	31,950,627
一般正味財産への振替額	△ 633,961,400	△ 644,151,569	10,190,169
一般正味財産への振替額	△ 633,961,400	△ 644,151,569	10,190,169
当期指定正味財産増減額	△ 503,811,613	△ 545,952,409	42,140,796
指定正味財産期首残高	2,230,320,561	2,776,272,970	△ 545,952,409
指定正味財産期末残高	1,726,508,948	2,230,320,561	△ 503,811,613
III 正味財産期末残高			
	1,761,912,750	2,273,819,272	△ 511,906,522

※ 当財団は、有限責任監査法人トーマツの会計監査を受けております。

みんなで
がんばろう
日本 ●

公益財団法人東日本大震災復興支援財団

〒105-7313 東京都港区東新橋 1-9-1 東京汐留ビルディング 13 階
TEL:03-6889-1560 FAX:03-6889-1568



この印刷物は、復興支援の一環として、福島県の印刷会社に、デザイン制作および製造を依頼し発行したものです。

2015年10月発行